



いのちに本気でよりそう府政へ

暮らしの悲鳴に応える時

減らされた保健所 元に戻して強化を

保健所のひっ迫が大問題になったのに、知事は「広域化のメリットが生かされた」と統廃合を合理化。危機的な事態をまともにつかんでいないことも明らかにな

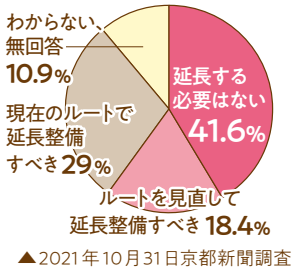
りました。あまりにも無責任です。いま、再び急速な感染拡大に直面しています。いのちを守る体制の立て直しこそ急務です。

京都府保健所	2003年以前	現在
	12カ所	→ 7カ所と1支所
京都市内	2003年以前	現在
	11カ所	→ 1カ所

こんなときに大型開発ですか？

2兆1千億円 北陸新幹線延伸

「反対」6割 もう中止しかない！



8割がトンネルで、残土処理や地下水への影響など、住民の不安は増すばかり。地元負担がどれだけ膨れ上がるかもわかりません。「国家プロジェクトだから」と、国に追随するだけの知事では困ります。疑問や不安に向きあい、きっぱり中止を求めるべきです。

北山エリア開発 植物園や大学を金儲けの場にするな



府民の憩いの場、落ち着いた文教地域に、1万人規模アリーナなど賑わい施設をつくる開発計画。反対署名が10万筆を超え、元植物園長をはじめ日本中から批判が寄せられています。ようやく開かれた住民説明会では、「これから検討」の一点張り。中身を隠して進めるやり方も許せません。いったん白紙に戻すべきです。

議会報告



京都市 左京区

日本共産党 府議6期

みつなが 敦彦

光永 あつひこ

議員団幹事長、府民環境・厚生常任委員会、新技術を活用した社会創造特別委員会

みつなが敦彦

いのちを守る——行動する議員として「北山エリア整備基本計画」は白紙撤回を

「北山エリアの将来を考える会」や「なからぎの森の会」をはじめ、地域や広範な府民の皆さんと一緒に、府立植物園前宣伝をはじめ運動に取り組んできました。こうした中、スウェーデンのヨーテボリ植物園長から「北山エリアと、生物多様性の世界的な宝物の一つである京都府立植物園についての計画を知り、深く憂慮しています。この様な開発は見直すように強く求めます」とする書簡が届くなど、世界的にも大問題となっています。白紙撤回のため議会でも地域でも頑張ります。



府立植物園前で北山エリアを守る署名行動に参加



左京連帯ひろば in 下鴨・葵・松ヶ崎

毎回の「左京連帯ひろば」に参加し、寄り添って相談

左京区では、各学区で「食料無料提供 & 相談会」が開かれてきました。私は相談員として毎回参加し、一緒に生活再建にむけて寄り添うとともに、支援制度の不十分さを議会で追及し、改善を求めています。

